

2021年12月10日  
株式会社 トランスジェニック

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

このたび当社は、創薬支援事業グループの主要企業で100%子会社である株式会社ジェネティックラボ（以下、GLab）の全株式について、全世界で検査・解析事業を展開しているユーロフィングループに売却する意思決定をいたしました。

GLabは北海道札幌市に拠点を構え、病理専門医による病理診断事業、遺伝子・タンパク解析事業及びこれらを組み合わせた分子病理解析等の創薬支援事業を行っております。また、一昨年からは、全世界で発生した新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制し、地域医療に貢献すべく、札幌市を中心に他社に先駆けてPCR検査事業を開始しました。この結果、前期から当期にかけて当社創薬支援事業グループの業績に多大な貢献をしております。

今回の意思決定については、コロナ禍で明らかとなった世界レベルでの治療薬及び診断技術開発における高度化・迅速化への対応を鑑みた場合、当社創薬支援事業グループの基幹事業であるCRO事業、すなわち、新薬リサーチセンター及び安評センターにおいて展開している基礎研究支援、非臨床・臨床試験分野に対しての、より一層の経営資源の集中が必要になると考えたことが背景にあります。一方で、GLabにおいても、今後の発展性を考慮しますと、世界的な検査・解析企業であるユーロフィングループに参画することで、今まで以上のグループ内シナジーが期待でき、新たなるステージでの事業展開を加速することを通じて、地域と世界の医療を支える企業としてステップアップしていけるものと判断した次第です。

トランスジェニックグループは、今回の大きな再編を通じて、CRO事業への投資を加速し、製薬企業や創薬ベンチャーが、難治性疾患を含む様々な領域において取り組む迅速かつ革新的な治療薬開発に関して、これまで以上のパートナーとなりうるCRO企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご愛顧をいただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役社長 福永 健司